

グリーンハイツ自治会

当自治会は約300世帯ですが、19もの団体やサークルがあり、活動が活発です。これは、汚水処理場の跡地を利用した広い集会所ができて、さまざまな活動が可能になったからです。7月末に行われる納涼祭で、その力が発揮されます。自治会は祭りの準備や進行を受け持ち、サークルが催し物や夜店を担当します。子ども達は、緑の会(寿会)のお店に行くのを楽しみにしています。そして盆踊りでは、子どもから高齢者まで、みんなが輪になり、三世代交流の場としても納涼祭は大切なひとときなのです。今年はお父さん達も、そろいの浴衣を新調し、祭りをさらに盛り上げました。



会場がひとつになって、踊りの輪が広がります

わかるかな? 今月の写真クイズ

写真は、今月の広報さやまに掲載してある写真の一部を拡大したものです。何ページの何の写真でしょうか?

解答をお寄せいただいた正解者の中から、抽選で5名に記念品を差し上げます。官製はがきで広報課宛お送りください。  
締切り11月30日(当日消印有効)

10月10日号の答え

6ページの躍で第22回埼玉県団体の炬火リレーのときに履いたシューズの写真でした。



表紙の写真

11月7日(日)狭山稲荷山公園で秋の風物詩、さやま大茶会が開催されました。今年には市制施行50周年を記念して入間市、所沢市、飯能市からも席主が参加し、21席の野点が会場に華を添えました。訪れた1万1千名の方は、狭山生まれの抹茶「明松」と玉露「伊利麻路」を使ったお点前や邦楽演奏などで秋の一日を満喫しました。

池原 昭治

さやまの会本

第114話



秋を見つけよう

笛や鉦、太鼓でにぎわう獅子舞いや足踊りなど、秋の祭りは、ふるさとの音が響きます。11月10日は、子ども達の初冬の祭りと言われる「十日夜」があります。

収穫祭が終わり、田の神さまが山に帰る前に、その年の豊作に感謝するため、農家の庭先の地面をワラ鉄砲でたたいて、田んぼを荒らすモグラ

やネズミを追い出します。

この、十日夜の日あたりから朝晩グツと冷え込んで、近くの雑木林の木が日、一日と色づいてきます。コナラ、クヌギ、イヌシデが紅葉し、ムラサキシキブ、ガマズミ、アオツツラフジの実も熟して美しく、林の中は色とりどりに飾られてにぎやかです。そこを歩いていきますと、頭の上のこずえでは、シジユウカラ、コゲラ、モズ、オナガな

どが忙しくさえずっています。一年の中で一

番色彩の豊かなこの時期に、智光山公園、城山(たてやま)跡、狭山稲荷山公園、狭山台の林、赤坂の森公園、水野の森など近くの雑木林を訪ね、いろいろな秋を見つける小さな旅をお勧めします。  
身近な場所で、素晴らしい風景を発見することができるはずです。

